

<週報No. 2,953> 3,065 回例会

2021年10月22日(金)

■会長／北川 和彦 ■幹事／飯田 兼光

◆司会＝玉本 広人 SAA

◆ゲストビジター＝本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本日	100.00%	0名欠席
前回訂正	100.00%	0名欠席

◆ラッキーナンバー＝No.19 小口 泰幸君

◆ニコニコボックス＝●北川和彦君、飯田兼光君＝久しぶりにぬのはんでの開催となり徐々に通常に戻りつつあります。このまま終息して行くことを願っています。ロータリー奉仕デーの参加ありがとうございました。平林会員卓話よろしくお願ひ致します。●三井章義君＝“日本のロータリー100年史”の中で100人のロータリアンに選ばれました。皆様のおかげです。感謝申し上げます。●玉本広人君＝久しぶりに皆様のお顔とリアルに拝見できてうれしいです。明日はこちらも久しぶりに孫と会えます。●小平直史君＝本日はプログラム委員会の担当例会です。平林会員の新人会員卓話です。宜しくお願いします。●小口泰幸君＝ラッキーナンバーにあたって。●増澤洋太郎君＝結婚記念日にお花をいただき。●串原弘樹君＝結婚記念日のお花をありがとうございました。●三澤郁馬君＝結婚記念日、お花ありがとうございました。

◆会長告知・北川和彦会長＝おはようございます。

本日からリアル例会としたいと思います。平林正光会員、卓話楽しみにしています。

10月9日にロータリー奉仕デーとして諏訪湖清掃を行ったところ、25人の会員と小針会員の子どもさんが参加していただきました。森、早出、有賀の長老にも参加していただき恐縮しました。ローターアクトと諏訪湖クラブの3クラブ合同の清掃で、他のクラブとの合同ははじめての経験でしたが、楽しくできました。このロータリー奉仕デーはR Iのシェカール・メータ会長が提唱されたものですが、世界的には245団体33000人が参加して実施されたということです。一つ残念だったことは、奉仕用のたすきがなく、ロータリーデーの旗はあったのですがフレームの一部がなく立てられませんでした。

来年はトライアスロン大会の参加もあり用意したいと思います。さて10月17日に地区の臨時会長幹事会がありました。2点報告します。第1は地区災害対策特別基金規定の制定です。地区内外の災害等の発生に備えた基金の規定がなく、これまで地区内の災害について会員からその都度募って拠出していました。昨年今年と災害が相次ぎましたが、今回は長崎に30万円、他の一カ所に50万円、岡谷と茅野に40万円ずつを支援しました。規定を設けて根拠と手続を明確にする狙いです。

災害対策委員若干名を専任しガバナー決定することになりました。

第2は、R Iが来年4月に規定審議会に提出を予定している「ロータリーの未来形成について」と題する実施計画の件です。各クラブから12月10日期限で意見を提出することになりました。

ロータリー史上初の大規模な組織改革とのことで、現在世界に41ある地域を28に減らす、地区を30以下のクラブを単位とするセクションとして2600地区を2セクションに分けるなどして、ガバナンスを強化し、機動的に運営していくということです。会員増強が難しい現状で、表面的な対策ではどうにもならないので、抜本的な改革をしたいということです。

ロータリーは地域に根ざした活動が大事でかなり違和感がありますが、来週ガバナーが来られるのでその際に説明してもらおうようお願いしました。

ロータリー情報委員会からさらに情報を得て理事会に諮り、会員の意見を集約して意見を決定したいと思います。

◆幹事報告 飯田兼光幹事

本日より例会会場がここ1階里神楽ということになりますので、今後また変更がない限りはこの1階での例会となることを、皆さんご承知おきをいただきたいと思います。

先ほど会長の方からもご報告いただきましたが、10月9日行われました。ロータリー奉仕デー。多くのメンバーの方に参加いただきましてありがとうございました。

諏訪湖ロータリークラブとの合同でもあり良い活動ができたと思います。



回覧にて、世界ポリオ根絶サミットの案内。

2600地区青少年育成基金プロジェクト助成金の案内。

2600地区災害対策特別基金規定制定の案内。

地区職業奉仕セミナーの案内をお返ししておりますので、確認をお願いいたします。次週29日はガバナー公式訪問です。ぬのはんでの開催となりますので多くのメンバーの皆さんにご参加をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

後ほど高野会員の入会セレモニーを行います。

本日はクラブフォーラムで会員卓話ということで平林会員よりお願いいたします。

◆委員会報告

●65周年実行委員会 善治直樹事務局次長

諏訪ロータリークラブ創立65周年事業概要を説明させていただきます。事業目的、創立当初の熱気と方針への意欲を思い起こそう。事業概要

1. 記念事業、贈呈式実施



諏訪の子供たちのために、散歩しながら諏訪湖に学ぶ図書を贈呈 8月27日諏訪中学校にて行われました。カメラ  
プロジェクター図書カード贈呈 10月25日、上諏訪中学校にて、記念授業、挑戦スワコエイトピークスミドルトライアスロン、ふるさと諏訪への熱き思いを込めて、小島会員に  
10月25日上諏訪中学校にて行っていただきます。  
ロータリー財団米山記念奨学会への寄付。

2. 図書寄贈報告例会、10月26日例会時に行われます。

3. 創立65周年記念例会祝賀会の実施、2022年、来年6月5日ぬのはんにて行われます。

4. 記念誌発行 2022年5月末発行予定となっております。

収入の部 65周年積立金、200万円。50万円を4年に分けて積み立てようと思っております。本会計より繰り繰入57万3500円。65周年積立金が50万円。例会費が7万3500円、1500円の49名となっております。地区補助金24万3534円。

会費、89万5000円。内訳は会員73万5000円、1万5000円掛ける49名全員登録となっております。現在50名となっておりますが、予算作成案作成時の49名で計算されております。ご家族等、16万円8000円掛ける20名。ロータリーアクト等はいりません。ご祝儀5万円、招待予定者約10名で計算しております。収入の合計が376万2034円となっております。支出の部 記念事業部会90万円。内訳は図書カード、デジタルカメラ2台、プロジェクター2台。記念誌部会80万円、150部印刷代、式典部会、28万2000円内訳は看板制作費2万円、案内状制作郵送費2万4000円。式次第、席次制作費10万円。お礼状作成郵送5000円、記念品9万8000円、来客用胸花名札1万6000円、通信費事務費1万9000円祝宴部会、93万円、内訳ですが、飲食70万円、花各所5万円、アトラクション5万円。席順表制作費1万円、サービス料10万円、友愛の広場2万円。事務局費、3万円会議費となっております。支出の合計が294万2000円となっております。

#### ●創立65周年実行委員会 玉本広人記念事業部会長

それでは今のことに関連いたしまして皆様には既にご案内を申し上げますが、10月25日贈呈式と、小島会員による記念事業を行うこととなっておりますので皆様にはご参加をお願いしています。今のところ16名の方から出席の返事をいただいております。一応中学校の20名くらいは行きますよというような話をしておりますのでまだ人数の方は大丈夫ですのでよろしく願います。14時35分には会場の方へ移動しますので遅くも14時半くらいまでには校長室の方にお集まりいただければと思いますのでよろしく願います以上です。

#### ◆新入会員入会セレモニー

#### ●八十二銀行諏訪支店長 高野健光君

ご紹介いたしました高野健光と申します。

7月の異動で八十二銀行諏訪支店着任いたしましたして、前任は須坂ですけど、着任して3ヶ月経ったということでございます、引き続き前任の前田と同様会計の担当させていただきますのでよろしく願います。私の今の経歴ですが銀行に平成元年



に入りもう30数年その間本部も含めまして14店舗を経験し諏訪は2回目でございます。

ちょうど平成16年から19年まで3年ほどおりました約15年ぶりの再赴任、本当に懐かしく思っております。当時いろいろお世話になった社長さん方も本当に覚えていただきまして本当に嬉しかったと思います。

実はロータリーは、いろんな店を経験している中会員は初めてでございます。実はその内容がよくわからなくて、過日三井さんと岩波さんにお越しいただきロータリーにつきましていろいろご教示いただき非常に共感した次第でございます。

9月1日ですか、正式に会員を認めていただきありがとうございます。また早速、10月9日には結婚記念日ということでお花もお送りいただきまして本当にありがとうございます。

歴代支店長はだいたい2年か3年で諏訪の支店長交代になりますが、本当に諏訪ロータリーは諏訪の顔となる皆さんと毎週お会いできて、思い出深いということをおっしゃっておりますので、私もぜひこういった場でまたいろんな皆さんのお知恵とかをお聞きして、また成長してまた転勤できればと思っております。いずれにしても本当にまだ何もわからず会員にさせていただいたわけですので、ぜひ皆さんの方お力添えを賜りながら、この諏訪の地を楽しんで、諏訪の地を思い出になるような形で過ごしていきたいと思っておりますので、ご指導よろしく願いたいと思っております。

#### ◆クラブフォーラム

#### 会員卓話 平林正光会員

今日のところは自己紹介、仕事の紹介、また最近気になっていることなどをお話しさせていただきたいと思っております。

私は1965年昭和40年に諏訪市豊田に生まれ、豊田小学校、諏訪西中学校、諏訪清陵高校、その後獣医を目指し、北里大学に進みましたが挫折し中退後、諏訪に戻り父親のやっていた工場で働き始めました。



昭和39年にプレス屋として創業し、プレスだけではやっていけないとのことで当時はすでに板金に移行しておりました。プレスとは一つの部品を作るために金型を作り製作するというものです。大量生産するには最も安く、速くできる一番の方法でした。時代が進み数多く生産するものは海外に移管される中で少量多品種のものが国内に残り板金加工だんだんと増加してきました。板金とはどのようなものかといいますと、板金とはまず形を切り抜く、そのあと曲げます。そして溶接したりして形にしていきます。まず切り抜くためにはその立体形状を展開していきます。展開というのは折り曲げる前の形を描くことです。切り抜く、曲げる、溶接当時考えも及ばなかったくらい進歩しましたが、その中でも一番進歩したと思うのはこの展開作業です。当時方眼紙を前にして電卓を片手に計算し方眼紙に鉛筆で線を引いて形を描いておりました。ものによっては当時1日かかっていたものが1時間もかからずにそれができてしまう・・・すごい進歩だなと思っております。今この板金業界も完全に設備産業になってしまい、まあ当然、昔ながらの職人の手作りも残ってはいますが昔みたいにおなじ機械をずっと使い続けるというよりも何年か使いどンドン

と設備を更新していくという感じになってしまっています。  
まあお金のかかる時代になってしまいました。まあ板金がい  
いなと思うところはいろいろな業界に手を伸ばしやすいとい  
うところでしょうあうか。車業界、半導体、工作機械、建設業  
界とあまり苦も無く手を伸ばせます。ある業界の方は今年の  
春以来それまで出ていた仕事が半減してしまったそうです。  
止まってしまった設備をほかの仕事で埋めることも考えられ  
るのですがもしその仕事が戻ってきたら対応できないとのこ  
とで待つこと1年以上たってしまってしまったとのことです。  
これは極端な例ですがなかなか新しい仕事に切り替えられ  
ない業界もあるとのことで大変なことだな一思います。これは  
生き方の問題でもあると思うのですが

釣り人と同じような気がします。海で魚釣りをしているとき  
釣れないときいずれ魚がまた戻ってくるとずっと同じ場所に  
居続ける人、場所を変えポイントを探していく人、ケースバ  
イケースでどちらが正しいかは誰にもわかりはしませんが後  
悔しないためにはいろいろなことを想定して決断が必要だと  
思います

最近に気になっていることについてですが、私も今後ロータ  
リアンとして既定のロータリーの活動以外にも皆さんとの交  
流からいろいろ学ばせていただきながら成長していきたいと  
思います。最後にまとまらない話となってしましましたが、  
次回もし機会があればもう少し程度のいい話ができますよう  
頑張りますので今後ともよろしくお願いいたします。

ご清聴 ありがとうございます。

#### ◆今後の例会日程

10月29日	金	3066回例会
11月5日	金	3067回例会
11月14日	日	3068回夜間例会